

本大岡地区

第2期計画の振り返り（平成22～27年度）

☆ともに生きる福祉のまちづくりを目指して

福祉の裾野を広げるために・・・

【成果】

①介護福祉講座の充実

- ・介護福祉講座を多岐にわたる内容で開催し、地域住民の福祉への関心を広げることができました。
- ・介護福祉講座が、地域行事として定着し、地域の方々があらゆる福祉課題に目を向ける機会となっています。

②障害児者団体などとの連携強化

- ・スポーツレクリエーションなど様々な機会をとらえて障害のある方々の通所施設やグループホームなどの福祉施設と連携を深め、より密な協力関係を築きました。
- ・避難所での防災訓練において、障害者団体と協力し障害理解について取り組みました。また、その際、障害のある方々が安心して避難所生活が送れるよう避難スペースづくり体験にも取り組みました。



障害のある方々とのスポーツレクリエーション

③広報紙による情報発信

- ・見やすく読みやすい紙面の工夫と常にタイムリーな情報を掲載し定期的に発行しました。

【今後に向けて】

①介護福祉講座の充実

- ・より多くの地域住民が参加できるよう、今後も介護福祉講座がより地域に根付いた活動となるよう取り組みます。

②障害児者団体などとの連携強化

- ・日頃から町の中で障害のある方と地域住民があいさつを交わせるよう、さらに交流を深めていきます。
- ・災害時の避難スペースづくり体験の他にも、災害に備えた取り組みを障害児者団体と連携し実施します。

③広報紙による情報発信

- ・住民の方々の興味・関心を一層引くような紙面づくりを今後も行い、住民参加が進むよう取り組みます。

孤立防止、ふれあいの場、仲間づくりを進めるために・・・

【成果】

- ・大岡川ふれあいサロンや老人会を通じて、参加者同士の仲間づくりの応援をしました。
- ・高齢者食事会で転倒防止や健康維持の研修会を企画し、多くの参加者を募り、仲間づくりの応援をしました。
- ・子育てサロンさくらんぼなどの参加者とかかわる中で、参加者の方々の悩みに寄り添っています。また、そこから見える傾向を本大岡地区として把握し関係機関と協力してできることから対応しました。
- ・関係機関との連携により子育て支援を充実させ、母親の孤立化を防ぐよう取り組みました。



大岡川ふれあいサロン

【今後に向けて】

- ・子ども会や婦人部と老人会などとの交流を深めていきます。
- ・本大岡地区社協で活動する各委員会と情報交換、課題共有をさらに図ります。そこから見えてくるニーズに基づいて、ふれあいの場づくりについて検討し、仲間づくりを応援します。
- ・現在実施している高齢者バス旅行を継続、仲間づくりの場の拡充に取り組みます。

地域の中で支援を必要とする人々（災害時に備えた日常からのつながり）のために・・・

【成果】

- ・防災拠点訓練や地区社協事業などを通じて、地域住民の防災意識の向上に取り組みました。
- ・災害時に備えて、高齢者や障害者など要援護者への理解を深めました。

【今後に向けて】

- ・定期訪問活動をしている三団体（民生委員・児童委員、友愛活動員、保健活動推進員）とその他の活動団体、自治会・町内会との連携を進め、見守り体制づくりの構築を進めます。
- ・隣近所で見守りの関係を築き、何かあった時には三団体や町内会役員などと連携した活動ができるよう、その仕組みづくりを進めていきます。
- ・新たに住民となった若い世代の方々の防災意識の向上に取り組みます。

地域の福祉を支える担い手・ボランティアの育成、強化のために・・・

【成果】

- ・地域福祉活動に協力する担い手が拡充・定着され、個々のスキルアップが図られました。

【今後に向けて】

- ・ボランティア講座を開催し、地域福祉活動への理解を進め、新たな担い手・ボランティアの拡充・育成に取り組みます。
- ・既存の行事などを通じて地域の福祉活動への関心を高め、様々な世代の担い手・ボランティアが集まるよう工夫します。

第3期計画（平成28～32年度）

地域の特徴

（データ=平成26年9月末日現在）

2つの弘明寺駅を中心に大岡川を挟んで東西の尾根までで形成された地区です。多様な街並みから成ります。

地区人口=約17,400人
 年少人口比率=10.7%
 高齢人口比率=24.8%
 総世帯数=約9,200世帯
 平均世帯規模=約1.9人



ともに生きる福祉のまちづくりを目指して

福祉への関心が高まり、裾野を広げるために・・・

5年後の将来像：同じ地域住民として障害のある方や高齢の方などの交流が日常的に行われている。様々な世代の地域住民が福祉課題に関心を持ち、地区としても必要な情報を発信している。

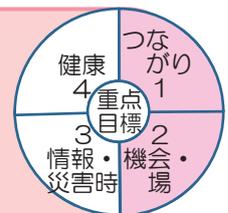


具体的な取組等

- ・子どもの頃から障害のある方や認知症の方への理解が深まるよう、福祉教育等子どもを対象とした研修会を開催します。
- ・様々な世代の地域住民が参加するイベントなどに障害のある方々を招き、同じ地域住民として親交を深めていきます。
- ・障害のある方の通所施設などと協力し、地域で困っている高齢者のサポートができないか検討します。
- ・認知症予防や介護予防の取り組みを関係機関と協力して進め、地域住民の健康づくりに寄与できる活動を進めます。
- ・若い方から高齢の方まで、様々な世代に関心が寄せられるような広報紙の作成を目指し、専門知識のある方の意見を取り入れていきます。

孤立防止、ふれあいの場、仲間づくりを進めるために・・・

5年後の将来像：高齢者だけではなく子育て中の母親などが地域の中で孤立することのないように、ふれあいの場や仲間づくりが盛んに行われている。



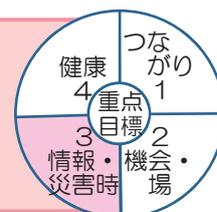
具体的な取組等

- ・子ども会や婦人部など各会の活動状況を共有し、その中でつながりをつくるために交流の機会を設けます。

- ・子育て中の母親や高齢者の方々が孤立することのないよう声掛けや広報紙などを活用し、サロンへの参加を呼びかけ、仲間づくりを応援します。また、幅広い世代が参加しやすい活動を自治会等と協力し顔見知りの関係づくりを進めます。

地域の中で支援を必要とする人々（災害時に備えた日常からのつながり）のために・・・

5年後の将来像：地域住民の意識が高まり隣近所でたすけあいの心をもって、見守り体制を構築している。



具体的な取組等

- ・隣近所の中で、日常的に見守ることの重要性について理解が広まるよう、イベントや広報紙を通じて意識づくりを進めます。
- ・見守りを進める中で、有事の際に必要な情報が届き活動がスムーズに進むよう、三団体（民生・児童委員、友愛活動員、保健活動推進員）や自治会町内会と連携し体制づくりに取り組みます。
- ・防災に関する情報を広報紙に掲載するなど、さらに地域住民の意識を高めます。

地域の福祉を支える担い手・ボランティアの育成、強化のために・・・

5年後の将来像：地域の行事を通じて多くの地域住民に地域福祉活動へ関心・興味が広がり、子どもから高齢者まで幅広い担い手が集まり活動している。



具体的な取組等

- ・地域福祉活動への関心が高まるよう、また、本大岡地区社会福祉協議会の活動を知ってもらえるよう、現在の取り組みについて広報紙などを通じて紹介します。
- ・様々な世代の担い手・ボランティアの協力が得られるよう関係機関と協力して、ボランティア講座を開催します。
- ・役員研修会で障害のある方のための施設見学等を実施し、参加者の関心を高め担い手を拡充します。
- ・地域に点在している老老介護の現状など様々な福祉課題に対して、把握し、支援する体制づくりを進めます。